

主な出来事 (2005年1～3月)

	三重・愛知	全国・海外
1月	●松阪市、嬉野町、三雲町、飯南町、飯高町が合併。新「松阪市」誕生。〈1/1〉 ●亀山市、関町が合併。新「亀山市」誕生。〈1/11〉 ●三重県が、「県産材利用促進本部」を設置。県産材利用による林業の活性化や森林の適切な整備、地域経済の活性化などが目的。〈1/17〉 ●中部経済産業局が管内5県の2004年金属工作機械受注状況を発表。主要9社の総受注額は4,611億円と、1993年以降では最高。〈1/27〉 ●中部国際空港への連絡道路となる「セントレアライン」が開通。〈1/30〉	●使用済み自動車の回収・処理を自動車会社・輸入業者に義務付け、費用を消費者が負担する「自動車リサイクル法」が施行。〈1/1〉 ●ビール大手4社が販売量に応じたりべート廃止などの新取引制度をスタート。〈1/1〉 ●情報処理推進機構が2004年コンピュータウィルス感染・発見の届け出件数を発表。52,151件と1990年の調査開始以来、最悪の水準。〈1/6〉 ●警視庁が2004年「振り込め詐欺」事件の被害状況を発表。被害総額は約283億7900万円と、前年の4倍以上に増加。〈1/28〉 ●イラクで同国初の自由選挙となる、国民議会選挙の投票を実施。〈1/30〉
2月	●四日市市、楠町が合併。新「四日市市」誕生。人口は約31万人と三重県で初めて30万人を突破。2007年度からの中核市移行が目標。〈2/7〉 ●大宮町、紀勢町、大内山村が合併。「大紀町」誕生。〈2/14〉 ● コーナー 成田、関西に次ぐ国際空港となる中部国際空港（愛知県常滑市）が開港。就航する国際線は週294便、国内線は同658便。〈2/17〉 ●三重県が外国人登録者数調査を発表。平成16年末現在の県内外外国人登録者数は、初めて4万人を超える43,621人（前年比+9.5%）に。〈2/22〉	●ライブドアがニッポン放送株の35%を取得、フジサンケイグループへの事業提携申し入れと発表。〈2/8〉 ●先進国にCO₂など温室効果ガスの排出量削減を義務付けた京都議定書が発効。日本は2008～12年の間に1990年比6%の削減を国際公約。〈2/16〉 ●金融庁が偽造カード調査を発表。2004年度の被害件数は上半期で117件と、前年度1年間の84件を上回った。同庁は、金融機関に偽造カードの預金不正引き出しへの対応策を要請。〈2/22〉 ●金融庁が、明治安田生命保険に対し、個人向け新規契約・募集を2週間禁止する業務停止命令と、内部管理態勢見直しなどを求める業務改善命令を発動。〈2/25〉
3月	●三重県が平成17年第1回（1～3月）景況調査発表。県内企業の景気DIは、全産業で▲17.0と2期連続で悪化。〈3/8〉 ●四日市の複合商業施設「ララスクエア四日市（旧アムスクエア四日市）」が全館オープン。〈3/12〉 ●三重テレビ放送などが地上デジタル放送を活用した携帯電話向け緊急地震速報の実用化試験を開始。地上デジタル放送波を使った試験は全国初。〈3/14〉 ●2005年日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県で開幕（～9/25）。〈3/25〉	●東京地検が、取引証券取引法違反（虚偽記載、インサイダー取引）容疑でコクド前会長を逮捕。〈3/3〉 ●内閣府が2003年度の国民経済計算を発表。03年末の正味資産（国富）は、2,724兆円と前年末比▲2.6%。6年連続の減少。〈3/10〉 ●世界経済フォーラムが、各国・地域のIT競争力を比較した「2005年版世界IT報告」を発表。日本は8位と、初めて10位以内に浮上。〈3/9〉 ●売上高世界第2位の流通企業である仏カルフルが、日本撤退を発表。日本法人をイオンに売却。〈3/10〉

コーナス 中部国際空港「セントレア」開港

2月17日、成田・関西に次ぐ国際拠点空港となる中部国際空港「セントレア」が、愛知県常滑市沖に開港しました。海外25都市、国内24都市を結ぶ24時間空港で、週294便の国際線と同658便の国内線が就航しており、国際線と国内線の旅客ターミナルが一体であることを生かして地方都市から海外に向かう旅客の需要を取り込むなどにより、年間1,200万人の乗降客を見込んでいます。同港は有名レストランや展望浴場などの商業・レジャー施設も充実させ、非航空系収入で売上高全体の6割に当たる300億円を目指しています。なお、開港一週間での来港者は約59万8,000人となりました。